

熊野古道・中辺路

2009.10.9 ~ 12

10月9日			
平針	16:54		
		地下鉄	
鶴舞	17:10		
	17:20	JR中央線	
名古屋	17:27		
	17:35	のぞみ119号	
京都	18:11	駅弁を買う	
	18:33	オーシャンアロー29号	
紀伊田辺	21:17		
		アルティエホテル紀伊田辺	
10月10日	(潮見峠越)		
紀伊田辺	8:20		
		明光バス	
下三栖バス停	8:44		
		2日目	14.8km
鍛冶屋川口バス停	13:48		
		龍神バス	
紀伊田辺	13:53		
		アルティエホテル紀伊田辺	
10月11日	(紀伊田辺 ~ 稲葉根王子)		
アルティエホテル	7:45		
		3日目	14.7km
稲葉根王子	14:43		
		龍神バス	
紀伊田辺	15:05		
		アルティエホテル紀伊田辺	
10月12日	(稲葉根王子 ~ 滝尻)		
紀伊田辺	8:00		
		明光バス	
稲葉根王子バス停	8:23		
		4日目	14.3km
滝尻	13:50		
		龍神バス	
紀伊田辺	14:31		
	15:41		
		くろしお26号	
新大阪	17:49		
	18:13		
		ひかり528号	
名古屋	19:21		



一日目
京都で弁当を買ひ、オーシャンアローで田辺へ。ホテル近くのローソンは閉店のため、ちょっと回り道をしてファミリーマートで翌日の昼食等を買う。宿泊は、アルティエホテル紀伊田辺。



10月10日

7:45 紀伊田辺駅



①8:50 下三栖バス停



③9:20 珠麗神社



⑤9:40 長尾坂登り口



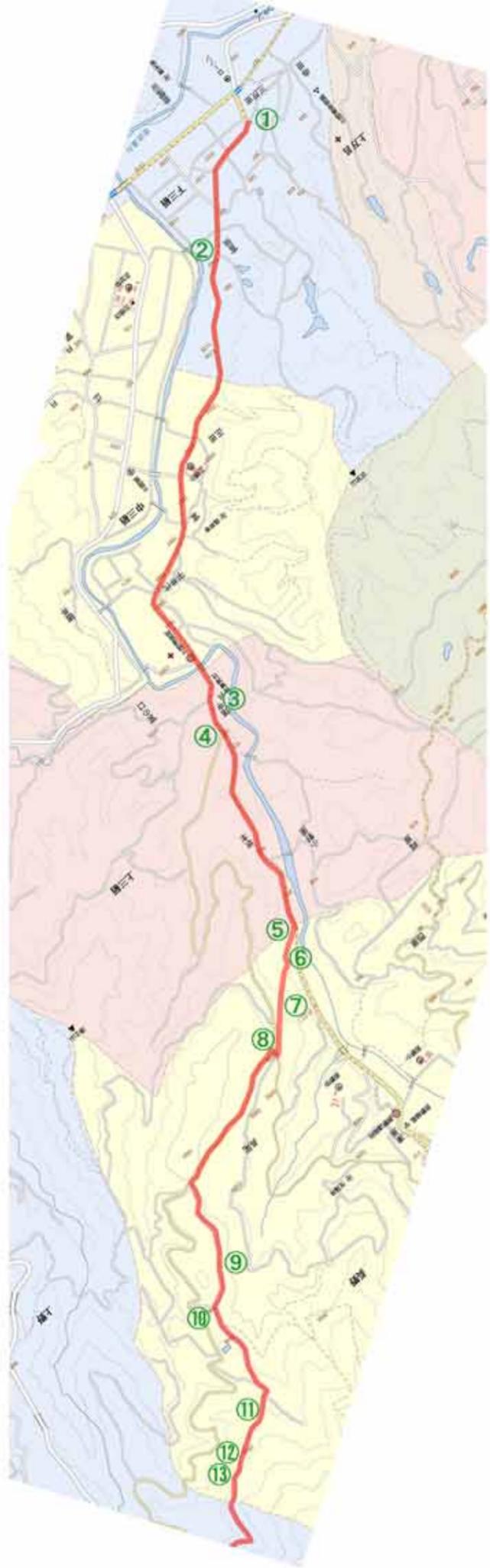
8:20 長野行き明光路線バスに乗車



②9:00 三栖の一里塚跡



④9:30 伝馬場跡



⑥9:45 石仏（石畳の地道）



⑦9:55 長尾一里塚跡



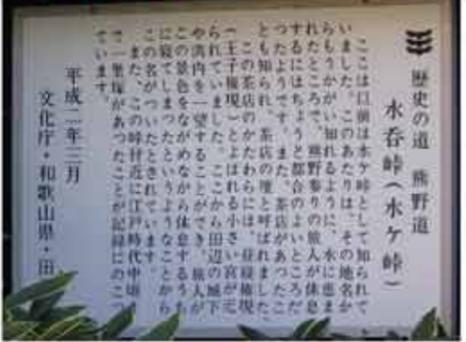
⑨10:25 天気良好



⑩10:40 ひるね茶屋（運が良ければ開いているという店は閉まっていた）



⑫10:55 水呑峠



⑧10:00 役行者像



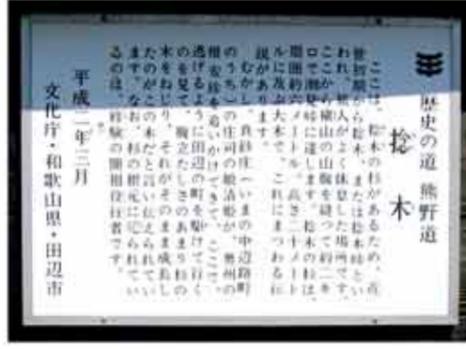
⑩10:30 関所跡



⑬10:57 水呑茶屋跡



①11:20 捻木峠



海を眺めながら昼食



②12:30 潮見峠



捻木の杉



潮見峠茶屋跡
推定茶屋跡が、岡坂を越え富田川に沿って行く古道から、この潮見峠を通る道に改まったのは、南北朝ころかとみられ、室町時代初期の「因阿上人絵伝」のなかに、田辺一本宮間の驛所として「潮見峠」の名が見える。また、応永十六年(一四〇九)の熊野連玉大社の文書で、当時悪党共がここに間所を設け、熊野参詣者の通行を妨害したことが知られる。そのころから、西国巡礼が伊勢の方から来て、熊野三山に参り、紀三井寺をめざして、よく通るようになった。豊臣秀吉の軍が紀南に攻撃してきた時には、この地方の武士たちはここで防戦したといわれる。江戸時代には、茶店が軒あり、ここから田辺川一帯が眺望できて、評判の休息所であった。「潮見峠」という名称は、西国十三箇所所、同会には、風景の図が出ている。しかし、明治の中ころ富田川が干涸び、海が見えなくなり、やがてこの峠を通る旅人はなくなった。

③12:50 本当に見落としそうな道標



④13:40 一里塚跡



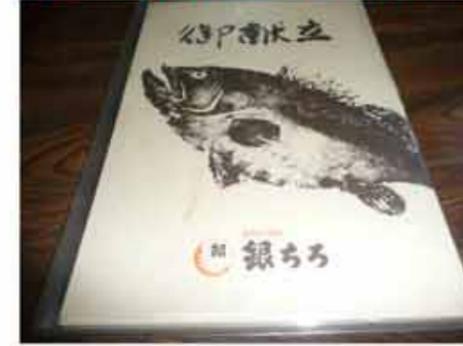
⑤13:45 鍛冶屋川口バス停



田辺駅周辺をフラフラ



夜は「銀ちろ」本店でクエ鍋、美味かった。



10月11日

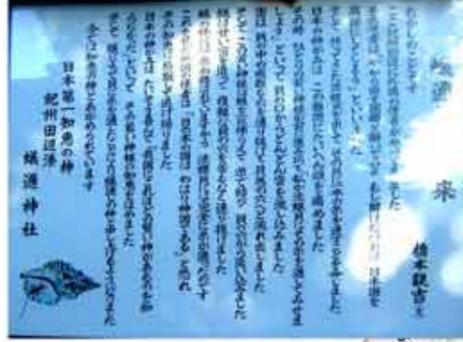
6:17 日の出



7:00 ホテルのモーニングバイキング



①7:50 鎌通神社



②8:00 道分け石

③8:25 出立王子跡 (秋祭り)



今日か過ぎた
おまの松原さ
わが使ひむか
おまの松原さ



④8:50 高山寺



⑤9:30 秋津王子跡



⑥9:50 須佐神社



梅畑の中を探し回って発見

⑦10:30 万呂王子跡



⑧10:45 三栖庵寺塔跡



⑨11:10 三栖王子跡



三栖王子跡で昼食 (ビールは下三栖のVショップで買った)



①11:45 善光寺



②12:55 八上王子跡 (八上神社)



③13:20 田中神社



田中神社から稲葉根王子に向かうルートは国道バイパスを行く稲葉根トンネルルート、旧国道311号ルート、本来の王子谷越えルートがある。ガイドブックは旧311号ルートを推奨しているようで、「いっしょに歩こう熊野古道」にはこれしか載っていない。しかし、ここは覚悟を決めて王子谷越えに挑戦。細い荒れ道を登るにつれ道は見難くなり、鞍部手前でついに消滅。後戻りも考えたが、エイヤーッと杉木立の中を強行突破、下りに入って無事、古道を見つけ、稲葉根王子に辿りついた。



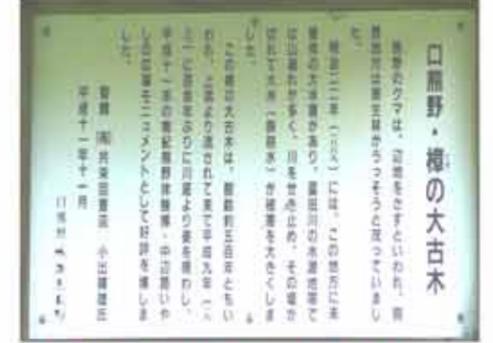
この山を越えました



④14:00 稲葉根王子



⑤14:25 樟の大古木モニュメント



⑥14:35 稲葉根王子バス停



16:43 の明光バスで田辺に戻る



夜は「銀ちろ」駅前店で、さざなみ弁当&饅造り定食+うつつぼ唐揚げ



10月12日

8:00の明光バスに乗車



①8:30 稲葉根王子



②8:35 潜水橋を渡る



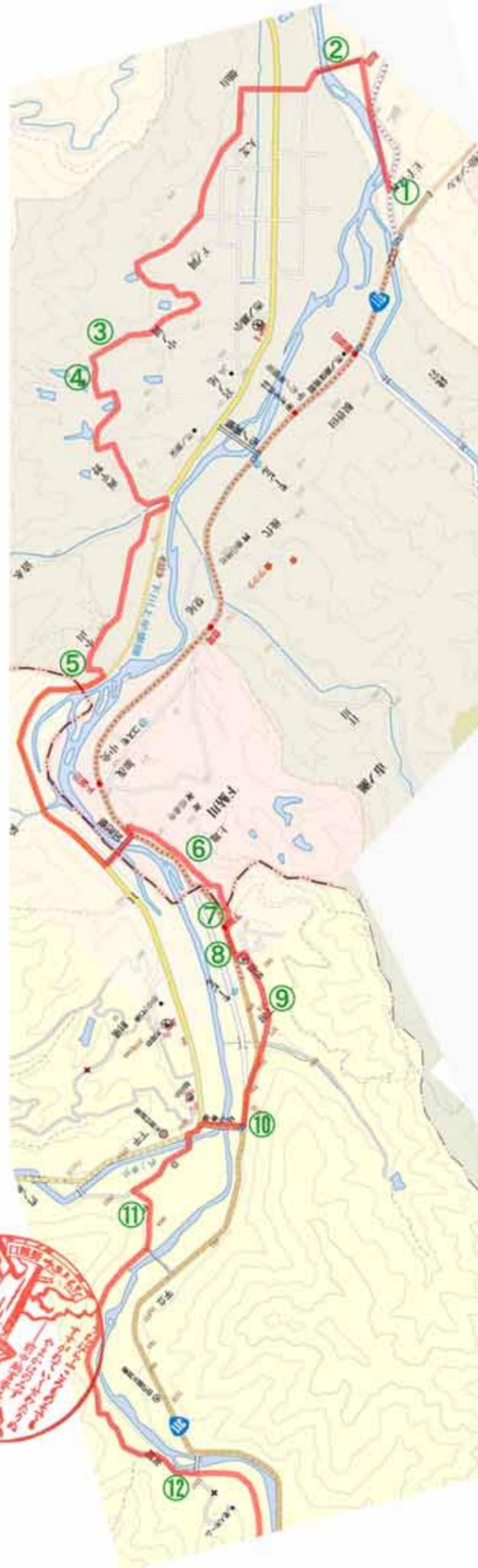
③9:05 柳谷弘法大師



④9:10 興禅寺(だるま寺)



⑤9:45 一ノ瀬王子跡



⑥10:20 今日も快晴



⑧10:30 カモン館



⑩10:45 鮎川王子跡



⑪11:00 住吉神社



⑫11:20 御所平・お薬師さん



⑦10:25 花折地藏



⑨10:40 千人供養塔



①11:25 藤原定家歌碑



藤原定家(1118-1183)は、白河の藤原氏の末裔で、後醍醐天皇の御代に「新古今和歌集」を編纂された。この歌碑は、定家の業績を称えるものである。...

②11:30 道祖神と庚申塚



道祖神は、道祖神である神といわれ、悪鬼のものをさえり、道の悪魔を断ち、旅人を守り、男立円満、縁結びの神として信仰されている。...

③11:50 大うなぎ生息地碑



④12:15 北郡橋を渡る



⑦13:25 滝尻王子



熊野古道館



⑧13:45 滝尻バス停



⑤12:25 清姫の墓



伝説 清姫生誕の地。江戸時代に入り、歌謡や狂言で日本中にその名が知られるようになった。安珍・清姫物語の女主人公「清姫」の出生地として知られる。...

Handwritten red text in a circle: 清姫の生誕地、北郡橋、大うなぎ生息地、清姫茶屋、熊野古道館、滝尻王子、滝尻バス停、アルティエホテル紀伊田辺。

時間があつたので、辻の餅でおやつ



15:41 くろしお 26号で帰りに



⑥12:30 清姫茶屋(昼食)



アルティエホテル紀伊田辺



歩いている途中「今日って10月10日じゃん」と突然母さんが言う。わかってますよ、〇〇記念日でしょーっ。だから奮発してケエ鍋。鍋は美味かった！...